

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

31号

2007.10.27 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

- 5月19日(土)ほか… トライアルサタデー「子どもチャレンジ竹細工」/特別活動
- 6月23日(土)… トンボ池周辺整備 /定例活動
- 7月28日(土)… 講座「森の調査」 /定例活動
- 7月15日(日)、8月11日(土)… 灯火採集
- 8月25日(土)… 竹クラフト /定例活動
- 9月22日(土)… 柴刈り大会・いのちの谷整備 /定例活動
- 9月23日(日)… 「環境デーなごや2007 中央行事」 出展 /特別活動

6月定例活動

トンボ池周辺整備



雨続きの谷間の晴れの日。6月の定例活動会「トンボ池周辺整備」ということで午前中は主に草刈り。昼から

はベンチづくりをやりました。草刈りの合間にはトンボ池でヤゴを捕まえたり、今は非常に珍しくなったトノサマガエルを観察しました。今年のヤゴは少し小振りで、ギンヤンマやナツアカネのヤゴが見つかりました。

参加者は三世代にわたり12名でした。新しく設置したベンチに座りながら、すっかりきれいになったトンボ池を眺めているとゆったりとした気分になります。これでビールでも飲めたら最高なのに……。

ところで最近、新しい技を発見しました。何かというと、「あぶり」です。日本軽金属から無償で頂いた木材をトーチなどで表面をあぶるのです。この

木材は運搬用に製材したのみで、乾燥させて無いため重く、腐りも早いので、使い勝手が悪かったのですが、この技で生まれ変わるかも？表面を炭化させることによって、長持ちするものと思われるかもしれません。また、黒っぽくなってなんか味わいも出てきたように思います。

ぜひ、みなさんもトンボ池へお越し下さい。(ジームズ・S・ポンド)



灯火採集

昨年に引き続き、名古屋の棲息生物調査が7月15日(日)と8月11日(土)の両日、夕刻7時から11時までの間、相生山緑地オアシスの森内「野辺の小径」で行われました。この調査は名古屋市内で同日同時刻にカーテン灯火採集方法によって、蛾や甲虫類を採取するもので、昨年は熱田神宮、大高緑地、戸田川緑地、平和公園、相生山緑地の5地点でしたが、今年は八竜緑地を加え、計6地点で行われました。

夏とはいえ、夜の森の中で4時間もの間、虫を集めるなどという地味な調査に果たして人が集まるのかと心配していましたが、虫好きの少年やお父さん、また通りすがりのカブトムシハン

ター親子などの参加もあり結構にぎやかに催されました。



7月の調査ではドウガネブイブイ、アオドウガネなど13種の甲虫類のほかガの仲間やセミの仲間や1ミリ以下の虫たちも数多く集まり、専門家には大変興味深い内容だそうですが、私などにはさっぱり…。それでもヒメカメコテントウとかハイイロチョッキリと

カニホンサシゲマルトビムシとか難しそうで親しみのわく名前を聞いているだけで楽しくなってきました。

いつも灯火採集調査で思うことですが、いつまでも、これら虫の世界に興味を示す虫少年が居続けてくれること、そんな少年たちが身近に親しむ森が名古屋市内に数多くあり続けることを願ってやみません。今、名古屋市では長期未整備公園緑地について、都市計画の見直しのためのパブリックコメント(意見募集)を行っています。身近な緑が将来どうなっていくのか、ぜひ一度ご覧になって意見を出してほしいと思います。

なお、この調査の報告書は年度末には出来上がる予定ですのでどうぞお楽しみに。(真弓 浩二)